

**北山地区**

**防災福祉コミュニティ**

**地域おたすけガイド**

平成 29年3月作成

北山地区防災福祉コミュニティ

## 1. 基本的な考え方

### ① いつ設置するか？

以下の時に防災福祉コミュニティ運営本部を設置します。

- ・地震：地震の震度が5弱以上のとき。  
地震による災害が発生または災害が拡大する恐れがある場合。
- ・風水害：大雨等で土砂災害警戒情報等が発表された場合
- ・その他：特別警報が出された場合。

### ② 大切なこと（皆さんの意識）

- 災害の状況や他地域にいるなどで、メンバーが揃わないことも予想されます。

**その時・その場で集まった人達で取り組みましょう。**

**自分がリーダーになるような意識で、周りの人と協力し合いながら、主体的に取り組みましょう。**

またメンバーの集結状況や災害の状況に応じて役割を、適宜、見直しましょう。

- 各活動に取り組む際には、

**皆で助け合いながら、周囲の状況をよく確認し、**

**自らの安全を確保し、無理をせず、**

**自分達のできる範囲で行いましょう。**

### ③ 役割分担

□ 集合した人達の中からリーダーを決定します。

リーダーは、**役割分担を決めます**

	災害後すぐ	緊急対応後
本部	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 命令指揮・情報班</li><li>・ 避難所の開設・運営班</li><li>・ 救出・救護支援班</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 物資班</li></ul>
各ブロック (自治会)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 避難誘導班</li><li>・ 安否確認班</li><li>・ 救出・救護班</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 物資班</li><li>・ 巡回・防犯班</li></ul>

## ■主な場所一覧

<b>防コミ運営本部 設置場所</b>	■北山地域福祉センター(北山小学校内)	
<b>避難所</b>	■北山小学校 ■福祉避難所:北山地域福祉センター (まずは全て北山小学校へ避難)	
<b>防災資機材庫</b>	■北山地域福祉センター(北山小学校内)	
<b>ブロックごとの 集合場所</b>	富士見が丘1丁目	富士見が丘自治会館
	富士見が丘2丁目	北山小学校
	富士見が丘3丁目全部, 4丁目の一部	3丁目中公園
	富士見が丘4丁目の一部, 5丁目全部	5丁目北公園
	北山台2丁目	朝日が丘自治会館
	北山台3丁目 (①③ブロック, ②ブロックの半分)	サンランド自治会館
	北山台3丁目 (②ブロックの半分, ④⑤ブロック)	北山小学校
	みどり苑	駐車場
	県営神戸緑ヶ丘住宅, 千寿が丘	県営緑ヶ丘住宅コミュニティセン ター
	広野ゴルフ団地	ゴルフ団地集会所
	上記以外の地域 (北山台1丁目など)	北山小学校へ
<b>耐震性防火水槽</b>	富士見が丘中公園	
<b>災害時要援護者 名簿保管場所</b>	(なし)	

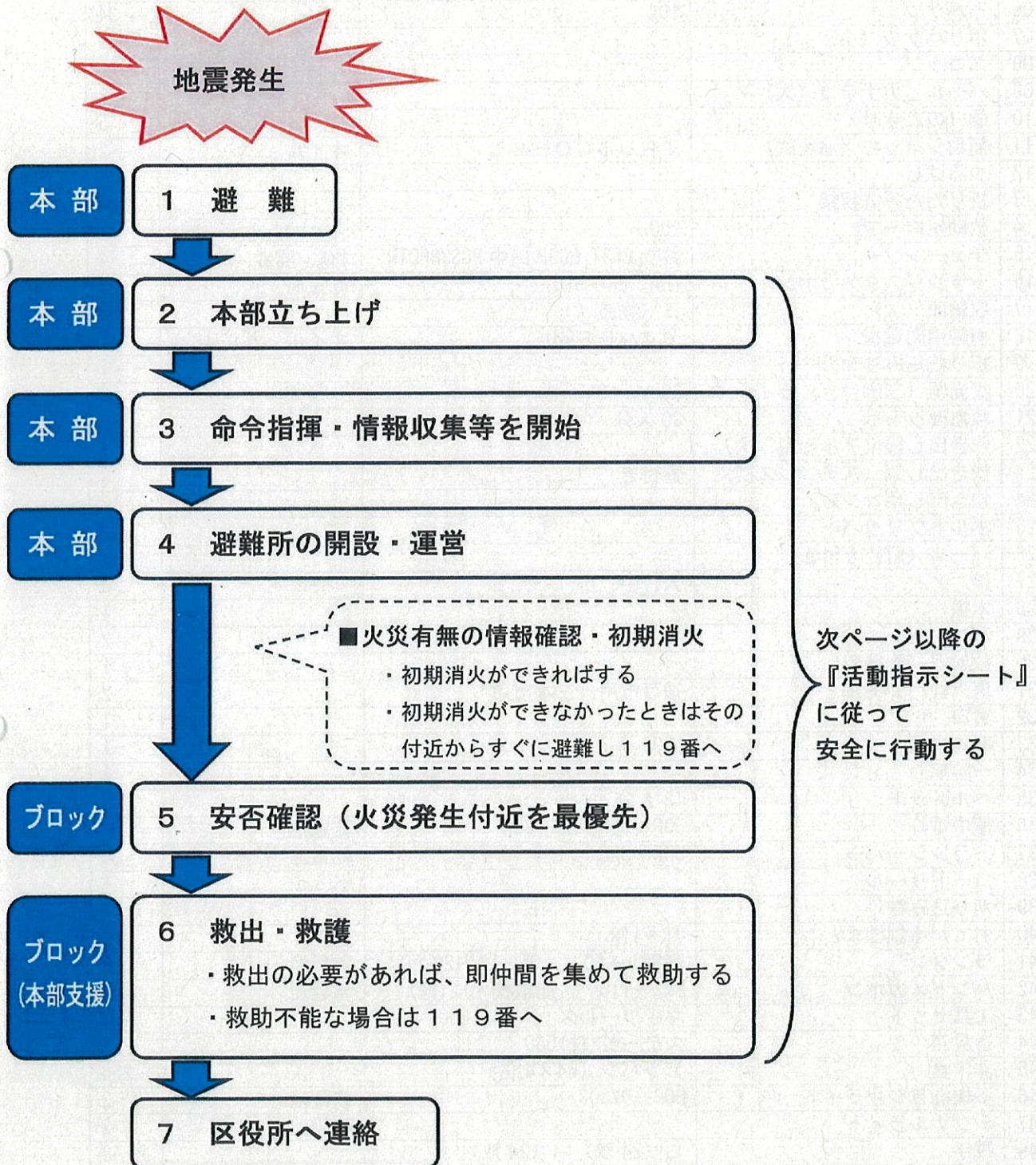
北山地域福祉センター 防災資機材庫 備品一覧 (平成28年6月4日現在)

	品名	形式名簿	定期保守点検	数量
01	小型動力ポンプ	トーハツ V10G	オイル、混合 (30:1)	1
02	消火用ホース	20m×5本		5
03	訓練用消火器			10
04	消火器 (粉末、ABC)		2016年まで	3
05	消火器 (強化液)			0
06	布バケツ	10ℓ		34
07	ポリバケツ (小)			65
08	スコップ			10
09	パール・カナテコ (大)			3
10	鋸 (のこぎり)			5
11	簡易ジャッキ (油圧式)	TRUSCO-2T	オイル	2
12	つるはし			5
13	折りたたみ式担架			1
14	救助用ロープ	200m		1
15	チェーンソー	共立 GC31 GC33 田中 PCS33EDTP	オイル、混合 (25:1)	4
16	トランジスタメガホン	TOA, ER-510	乾電池	3
17	収納庫 (大)	ヨド物置		2
18	携帯用発電機	ヤマハEF9HIS	オイル、ガソリン	1
19	折りたたみリヤカー			1
20	投光器 (三脚付き) ライト4	300W×3		2
21	救急セット	30人分		2
22	炊き出し鍋 (アルミ製、大)			1
23	炊き出し鍋 (ステンレス製)	蓋付き		3
24	炊き出し用コンロ			3
25	ボルトクリッパー			2
26	パール (釘抜き付き)			2
27	斧	大、中、小		3
28	木槌			1
29	ハンマー	大、中		2
30	放射器 (訓練用)			1
31	消火栓ハンドル	神戸市用、三木市用		2
32	薫口			1
33	簡易水槽	500ℓ		1
34	一輪車			1
35	ヘルメット	18人分		18
36	懐中電灯	DOP-650 HS-30R	乾電池	4
37	トランシーバー	UBZ-J20	乾電池	4
38	コードリール			1
39	刈り込み鋏			1
40	おてがる訓練まと	VT-1TR		5
41	ランタン	野電U-30 OF-LAN120LED	乾電池	2
42	ハンドメガホン	BMX-110 旭電機化成(株)	乾電池	2
43	工具セット	マイツールズ Mt-300		1
44	道具箱	ステージ(株)560		1
45	非常食	カンパン (64×4缶)		256
46	多機能ラジオライト	DOP-DY303	乾電池	2
47	シグナルライト		乾電池	2
48	軍手	L (24双) M (24双)		48
49	洗浄機			1

※北山小学校には、上記表とは別に資機材が保管されている。

## 2. 防災福祉コミュニティとしての活動

< 取り組みの優先順位（地震の場合） >

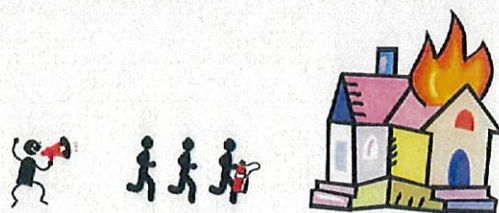




## ■ はじめに

### ～北山地区お助けガイドの作成とこれからについて～

- 災害はいつ起こるかわかりません。誰がスタッフとして活動できるかもわかりません。このガイドは、災害時地域にいる人達が誰でも活動できるよう、わかりやすく取り組み手順を整理したガイドです。
- このガイドは、平成28年度に北山防災福祉コミュニティを中心に皆で話し合いながら、つくりあげたものです。しかし、今後、時代の変化や防災訓練等を通して、内容の見直しを重ねていくことが求められます。

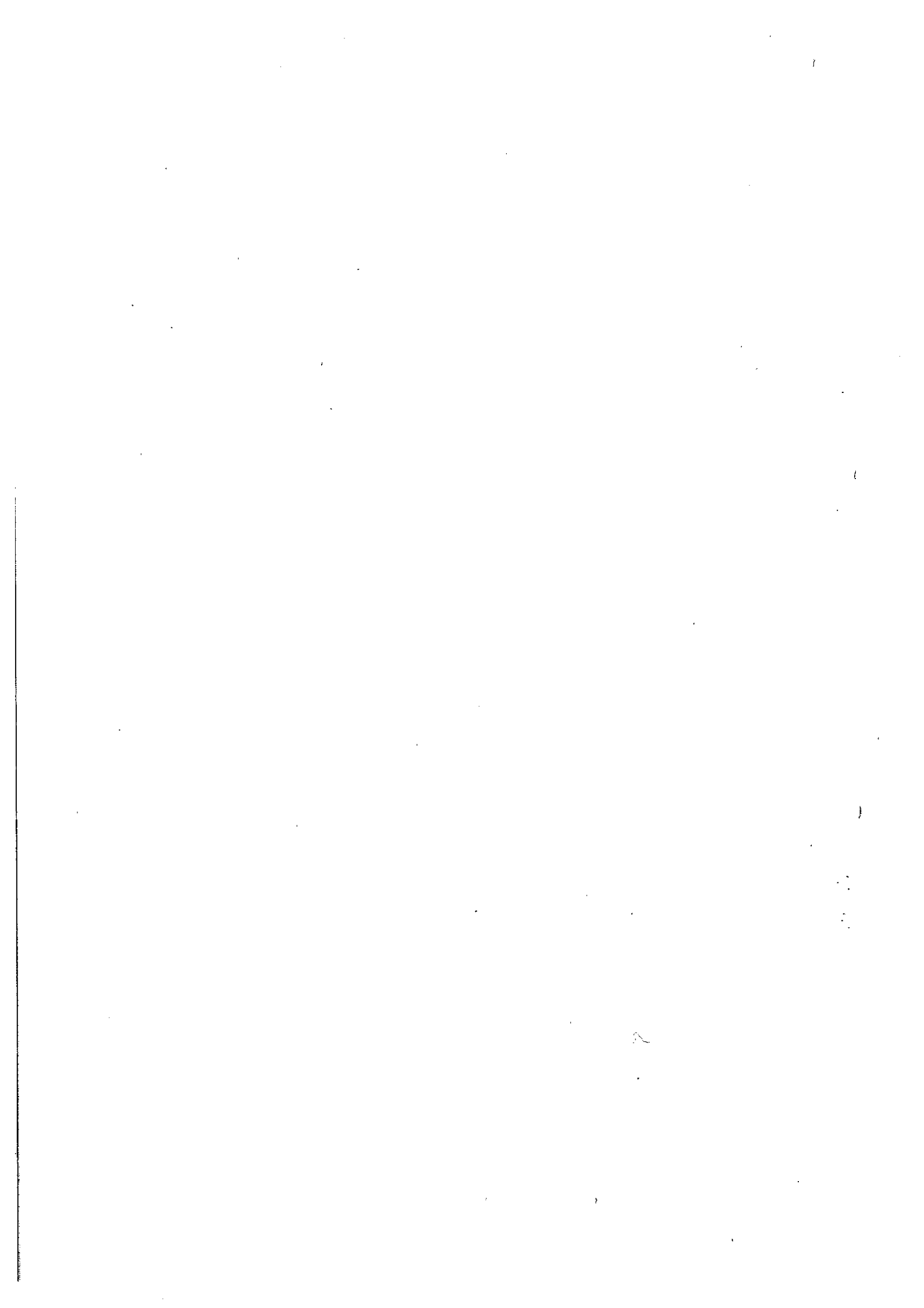


### ◇ 7～16 ページ 指示書シート(マニュアル)

A4両面コピーを複数枚しておき、  
災害時に各担当者に渡します。

表面は取り組み手順、裏面は参考情報を掲載しています。





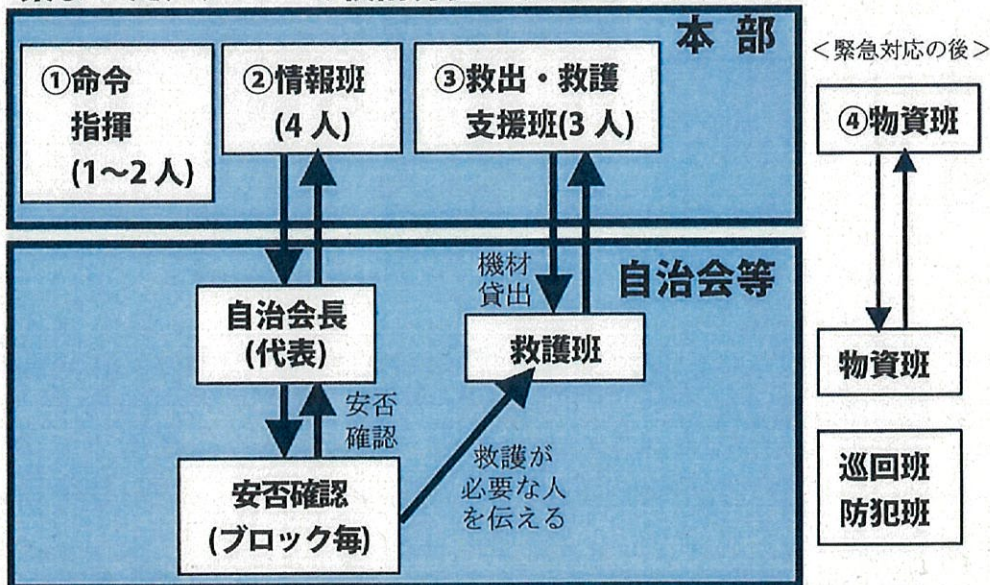
# 本部の立ち上げ

## 主な役割

1. 情報の収集・伝達を行う
2. 避難所の対応を行う
3. 各ブロックに指示や支援をする。

## 取り組み手順

1. 地域福祉センターに集まる  
・地域福祉センターに集まる。(本部役員ほか)
2. 集まったメンバーで役割分担を決める



3. 必要な準備物を整える

<主な準備物>

- |                               |                                   |                                     |
|-------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ①地図  | <input type="checkbox"/> ②防災マップ   | <input type="checkbox"/> ③災害時要援護者名簿 |
| <input type="checkbox"/> ④模造紙 | <input type="checkbox"/> ⑤ホワイトボード |                                     |

4. 各ブロックに具体的に指示する (命令指揮・情報シート参照)  
各ブロックの活動班の人員が不足している場合は、本部から人員を派遣する。



# 命令指揮・情報

## 主な役割

1. 情報収集 → 2. 情報をまとめる → 3. 情報を伝える

## 取り組み手順

### 1. 情報の収集

必要な情報	情報を入手する方法
① 気象情報、災害情報	ラジオ、テレビ、インターネットなど
② 各ブロックの情報（情報入手と伝達） ・被害の情報 ・救出・救援 ・安否確認 ・必要な物資など	携帯電話 拡声器 車の巡回 公衆電話など



2. 集めた情報は模造紙等(ホワイトボード)に時系列でまとめる※

### 3. 情報を伝える（各ブロック以外）

連絡先	連絡先
① 区役所	避難情報・避難所開設
② 消防署	地域の災害情報、けが人

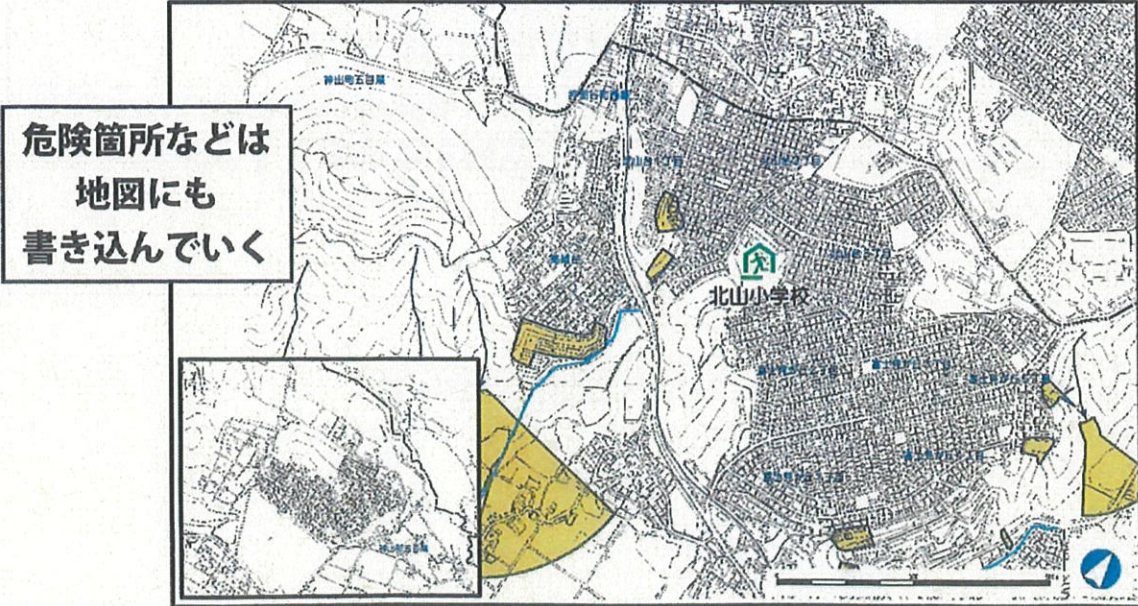
【参考】情報の記録の仕方

【ポイント】誰でも見ることができる、書いて追加できる

地域毎に  
1枚の模造紙を  
壁に貼り付ける

項目を縦軸  
時間を横軸にして  
情報が来たら、  
書きたしていく。  
(模造紙が一杯に  
なったら、上から  
新しい模造紙を貼る)

● ● 自治会				
項目	●時	●時	●時	●時
安否確認				
危険箇所				
救急				
避難				
要援護者				
...				
...				
...				



危険箇所などは  
地図にも  
書き込んでいく

# 避難所の開設・運営

## 主な役割

避難所開設後の避難者の受け入れと運営

## 取り組み手順

1. 避難所の開設について【避難所：北山小学校】
  - ・ 区役所と連絡し避難所の開設を決める  
西区役所 929-0001 / 押部谷連絡所 994-1001
  - ・ 学校関係者や区役所職員と協力して避難所をたちあげる
  - ・ 災害時要援護者に配慮し、必要に応じて保健室などを利用して、福祉避難室を用意する
  - ・ 避難者名簿（町別）、非常食等の準備物を用意する
2. 避難者の受け入れについて
  - ・ 運営については学校関係者や区役所職員と協力して行う。
  - ・ 避難してきた人に名簿に必要事項を記入してもらう。
  - ・ 災害時要援護者など配慮の必要な人に対応する。
  - ・ 体の不自由な人など、福祉避難所（地域福祉センター）を必要とする方については、避難所を巡回する市のケースワーカー、ヘルパー、保健師等につなぐ。

※ 避難所の開設・運営については今後、区役所と調整が必要。

**<避難所を運営するにあたって、特に配慮の必要な人>**

- ・女性や妊産婦・子育て家庭
- ・知的や精神、発達障がい者のうち、集団生活への対応が困難な人
- ・身体の内部に病をお持ちの人
- ・認知症の疑いのある人
- ・身体に障害がある人（視覚・聴覚・言語など）
- ・災害時要援護者
- ・ペット
- ・その他体などの不自由を訴えられている方

**<福祉避難所（北山地域福祉センター）への避難の流れ>**

1. まずは避難所（北山小学校）へ避難する。
2. ケースワーカー、ヘルパー、保健師等が避難所を巡回し、本人やご家族の意向や状況を確認したうえで、神戸市が対象者を決定する。
3. 福祉避難所での受入を決定した人は、家族等の支援で移動する。

注) 移動手段が無い人は、災害時、西区で開設される移送を要する要援護者の受付窓口へ相談する。

# 安否確認

## 主な役割

1. 安否確認情報を収集する
2. 安否不明者の確認をする（住民が安全か？ 救出等が必要か？）

## 取り組み手順

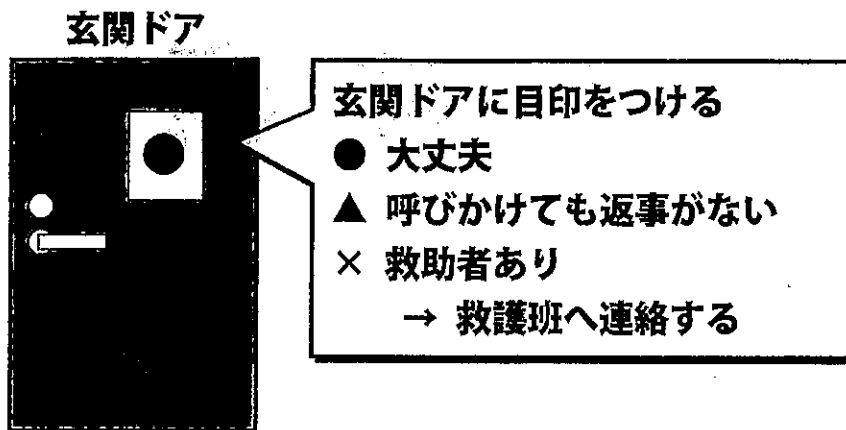
### <安否確認のルール>

【各自】・安全だった人：玄関に●の紙を貼ってもらう。  
一次集合場所に集まる

1. 安否確認をする人・単位
  - ・確認範囲：街区・ブロック単位（10～20件くらい）
  - ・確認する人：数人で手分けをする。
2. 安否と建物の確認（外観確認）
  - ・まずは建物に甚大な被害がないか確認する。
  - ・玄関等に目印（●）が貼っていないか確認する。
3. 安否状況を確認する
  - 1) 大きな声で呼びかける
  - 2) ドアをたたく、呼び鈴をならす、雨戸等をたたく
  - 3) ベランダ・庭側が見ることができれば、ベランダ・庭側から確認する
  - 4) 近所の人にも確認してみる（外出の可能性等）
4. 安否確認の結果を、記録・明示する。
  - ・玄関にマークを貼り、区画図に安否確認結果を記録する自治会長（代表者）に報告する。



**【参考】 安否確認の結果の記録・明示の仕方**



※他に「タオルやハンカチを玄関にかける」という意見もあり。

**【参考】 安否の確認ができなかったとき**

- ・外出している可能性があるので、近所の人に確認してみる。
- ・家族が避難場所以外のところに連れて行っている可能性がある  
るので、家族に連絡をとる、近所の人に確認してみる。

# 救出・救護

## 主な役割

1. 住民等の救出活動を行う
2. 救護(応急手当)をする

## 取り組み手順

1. 道具と担い手を集める
  - ・防災資機材（北山地域福祉センター）を活用する（鍵は本部役員が所有）
  - ・道具は防災資機材庫のほか、各家庭や掃除倉庫等から持ち出す。  
その他近くの病院や施設等から借りる

<利用できる道具（例）>

<input type="checkbox"/> ①ジャッキ（車にある）	<input type="checkbox"/> ②チェーンソー
<input type="checkbox"/> ③チェーンブロック	<input type="checkbox"/> ④毛布・畳（担架に使う）

  - ・救急部隊は、その場にいる大人や高校生、中学生、小学校高学年など、体力のある人をお願いする。
2. 被害状況を把握する
  - 1) 倒壊建物に残されている人の状況を確認する
  - 2) 建物の倒壊状況、内部に進入するスペースがあるかを確認する
  - 3) 二次災害が発生する要因がないか確認する。
3. 二次災害の防止（救出する前に被害が拡がらないようにする）
  - 1) 木片、トタン、ガラス等の軽量物を除去する
  - 2) 柱、梁等の大きな物の周辺の物を取り除くときは、ロープ等で支え、固定する。（大きな物がずれたり、倒壊しないため）
  - 3) 火災の発生に備え、消火器や水バケツを用意する。  
ガスの元栓や電気のブレーカーは早く閉止や遮断する
4. 要救助者の救出と応急手当
  - 1) 要救助者の近くまで掘り進んだ後は、資機材を使わずに手作業にする。
  - 2) 要救助者を無理に引き出そうとしない。
  - 3) 出血しているときは清潔なガーゼ等で傷口を圧迫止血する。
  - 4) 医療機関に搬送する。（本部にも連絡する。救助ができない場合は、119 番へ連絡する。）

北山地域福祉センター 防災資機材庫 備品一覧 (平成28年6月4日現在)

	品名	形式名簿	定期保守点検	数量
01	小型動力ポンプ	トーハツ V10G	オイル、混合 (30:1)	1
02	消火用ホース	20m×5本		5
03	訓練用消火器			10
04	消火器 (粉末、ABC)		2016年まで	3
05	消火器 (強化液)			0
06	布バケツ	10ℓ		34
07	ポリバケツ (小)			65
08	スコップ			10
09	パール・カナテコ (大)			3
10	鋸 (のこぎり)			5
11	簡易ジャッキ (油圧式)	TRUSCO-2T	オイル	2
12	つるはし			5
13	折りたたみ式担架			1
14	救助用ロープ	200m		1
15	チェーンソー	共立 GC31 GC33 田中 PCS33EDTP	オイル、混合 (25:1)	4
16	トランジスタメガホン	TOA, ER-510	乾電池	3
17	収納庫 (大)	ヨド物置		2
18	携帯用発電機	ヤマハ EF9HIS	オイル、ガソリン	1
19	折りたたみリヤカー			1
20	投光器 (三脚付き) ライト 4	300W×3		2
21	救急セット	30人分		2
22	炊き出し鍋 (アルミ製、大)			1
23	炊き出し鍋 (ステンレス製)	蓋付き		3
24	炊き出し用コンロ			3
25	ボルトクリッパー			2
26	パール (釘抜き付き)			2
27	斧	大、中、小		3
28	木槌			1
29	ハンマー	大、中		2
30	放射器 (訓練用)			1
31	消火栓ハンドル	神戸市用、三木市用		2
32	薫口			1
33	簡易水槽	500ℓ		1
34	一輪車			1
35	ヘルメット	18人分		18
36	懐中電灯	DOP-650 HS-30R	乾電池	4
37	トランシーバー	UBZ-J20	乾電池	4
38	コードリール			1
39	刈り込み鋏			1
40	おてがる訓練まと	VT-1TR		5
41	ランタン	野電 U-30 OF-LAN120LED	乾電池	2
42	ハンドメガホン	BMX-110 旭電機化成 (株)	乾電池	2
43	工具セット	マイツールズ Mt-300		1
44	道具箱	ステージ (株) 560		1
45	非常食	カンパン (64×4缶)		256
46	多機能ラジオライト	DOP-DY303	乾電池	2
47	シグナルライト		乾電池	2
48	軍手	L (24双) M (24双)		48
49	洗浄機			1

※北山小学校には、上記表とは別に資機材が保管されている。

### 3. 今後の取り組み ～ワークショップの結果より～

#### ■今後の取り組み

- ①本部と自治会のコミュニケーションが大切！
  - ・防災・防犯担当役員等は交替するので、受け継いでいく。
- ②定期的に、様々なタイプの訓練をすることが大切！
  - 理由：・実際に行動したり、道具・機材が使えるように。
  - ・地域の状況を把握したり、住民同士のつながりをつくるために
- ③お助けガイドの内容をバージョンアップさせることも大切！
  - ・時代や訓練によって改良していく点が出てくる。
- ④ふだんから災害時の危険箇所の確認・解消が必要。
  - ・水路に落ち葉がたまっていると水があふれやすい（清掃が必要）
- ⑤本部役員・主な連絡先一覧・機材や部品リストをつくっておく。








#### ■確認事項など

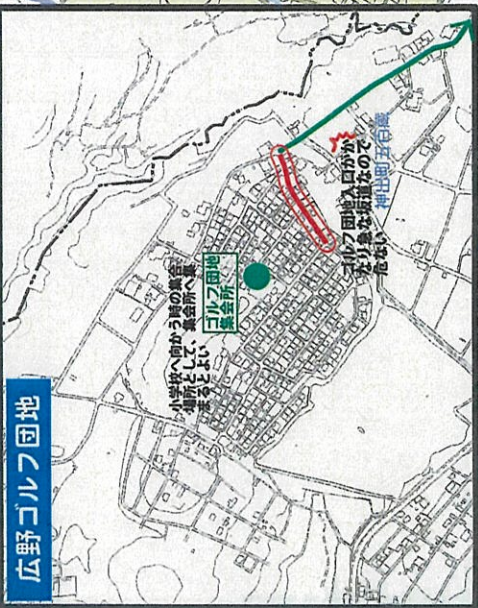
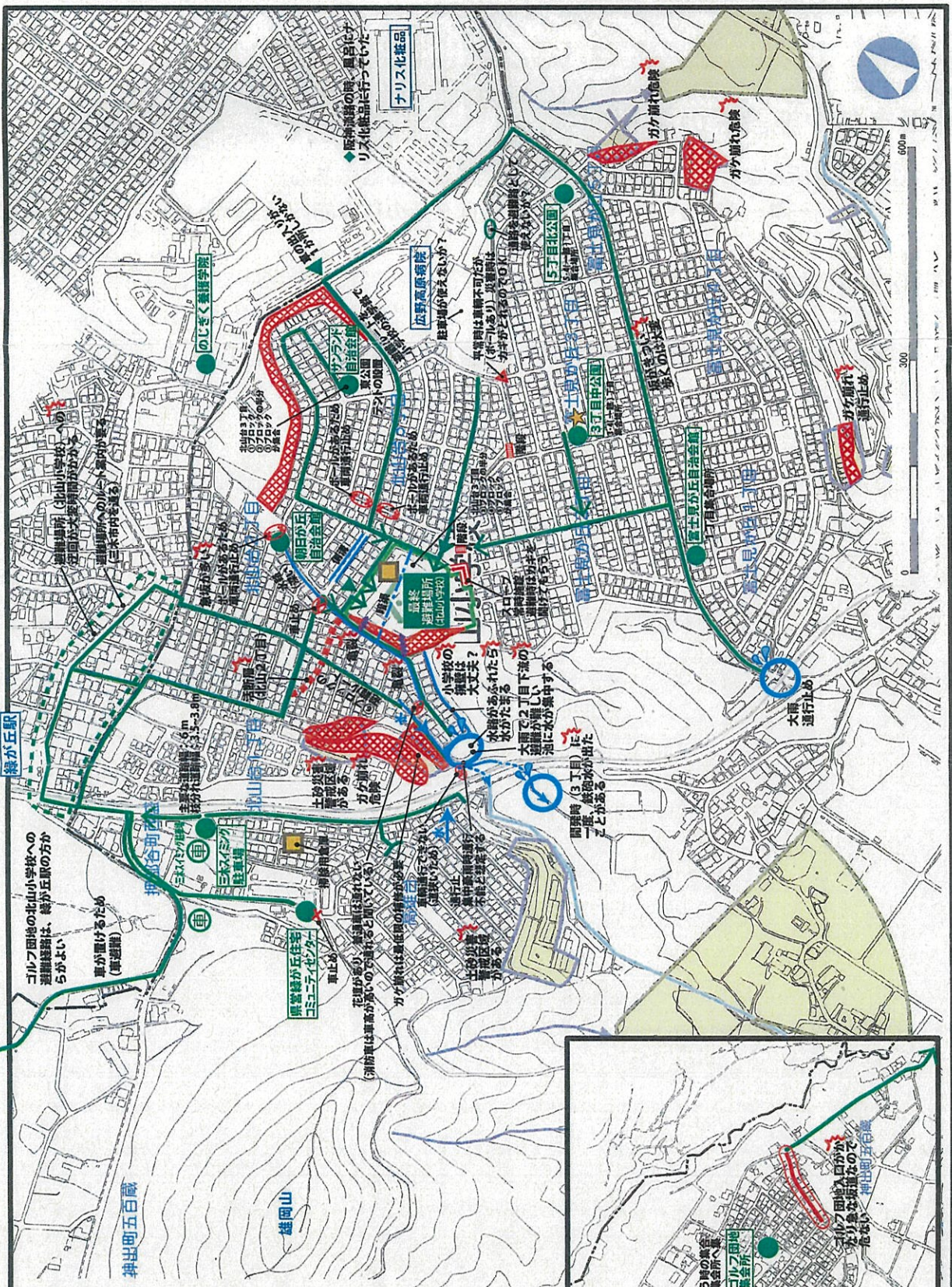
- ①備品・資機材庫の内容の共有：
  - ・小学校に備品がどれくらいあるか確認する。
  - ・自治会等の救出・救護隊が資機材庫に何があるかわかるようにする。
  - ・周辺の施設で借りることができるか確認しておく。
- ②救護部隊が必要：
  - ・小学校高学年・中学生～50歳代くらいの救護部隊
  - ・そのほか、助ける側の人数をいかに増やすか？
- ③住民の家族構成や介護の必要性がわかる資料が必要
- ④車で避難することが多い。車での避難のルールづくりが必要
- ⑤小学校の閉鎖されているスロープは、災害時に開けることができるか、小学校に確認する。

## ■まちや施設等の課題

- ①避難場所となっている北山小学校の体育館は2階にある。  
エレベーターがないので、足の悪い人は2階の体育館へは上がれない
- ②車留めで車が通れないところがある
- ③がけ崩れの恐れのある箇所については最低限の補修をしてほしい。

# 凡例

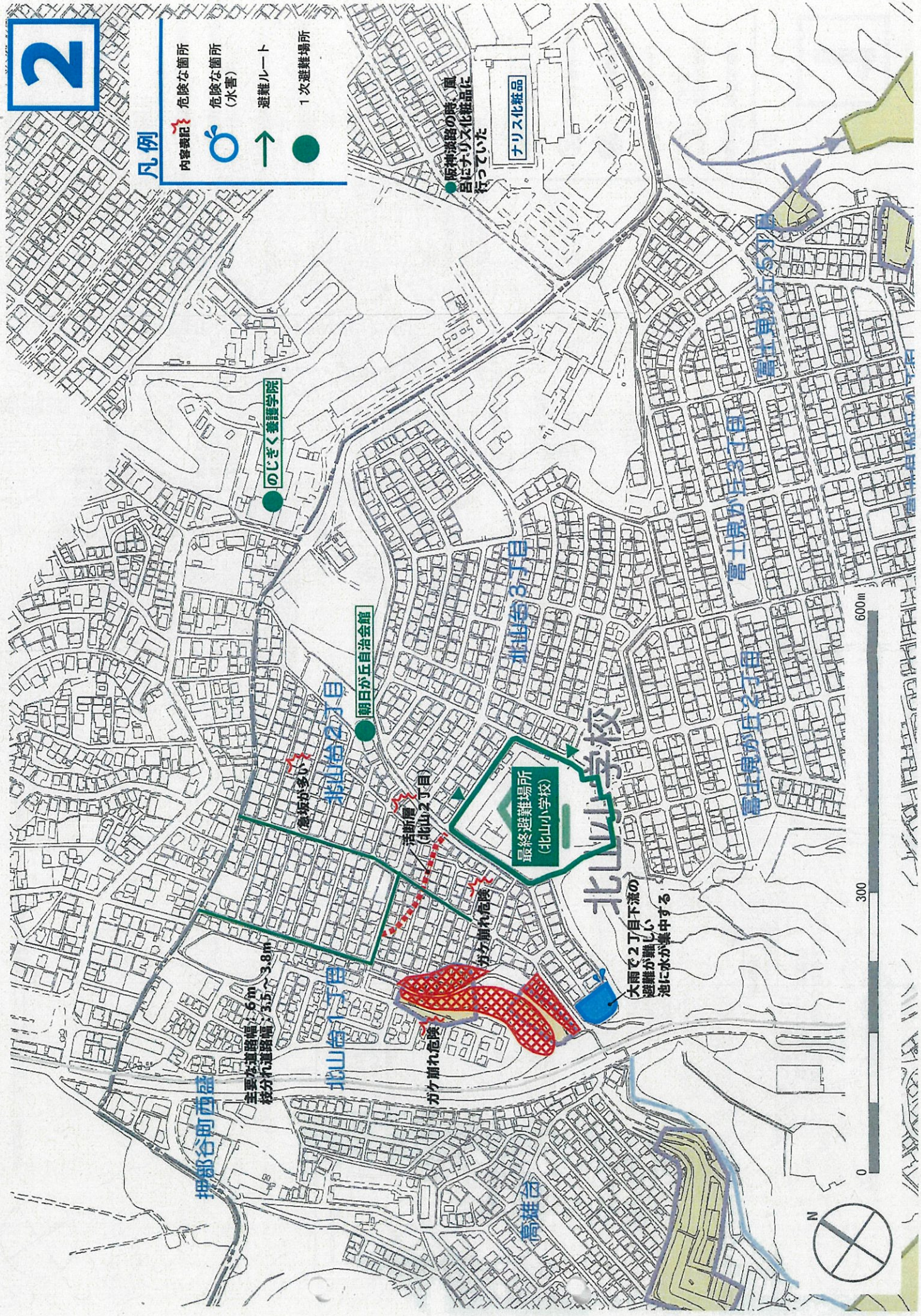
- 内容表記  危険な箇所
-  危険な箇所 (水害)
-  避難ルート
-  1次避難場所
-  車の乗捨て場所
-  資材庫
-  耐震性防火水槽





凡例

- 内蔵表記 危険な箇所
- 危険な箇所 (水害)
- 避難ルート
- 1次避難場所



主要な道路幅：6m  
 格別な道路幅：3.5～3.8m

危険が多い

朝日が丘自治会館

手断層 (北山2丁目)

ガケ崩れ危険

ガケ崩れ危険

最終避難場所  
 (北山小学校)

北山小学校

大雨で2丁目下流の  
 避難が難しい  
 池に水が集中する

阪神淡路の降、風  
 害にナリス化粧品に  
 行っていた

ナリス化粧品

富士見が丘3丁目

富士見が丘2丁目

富士見が丘1丁目

600m

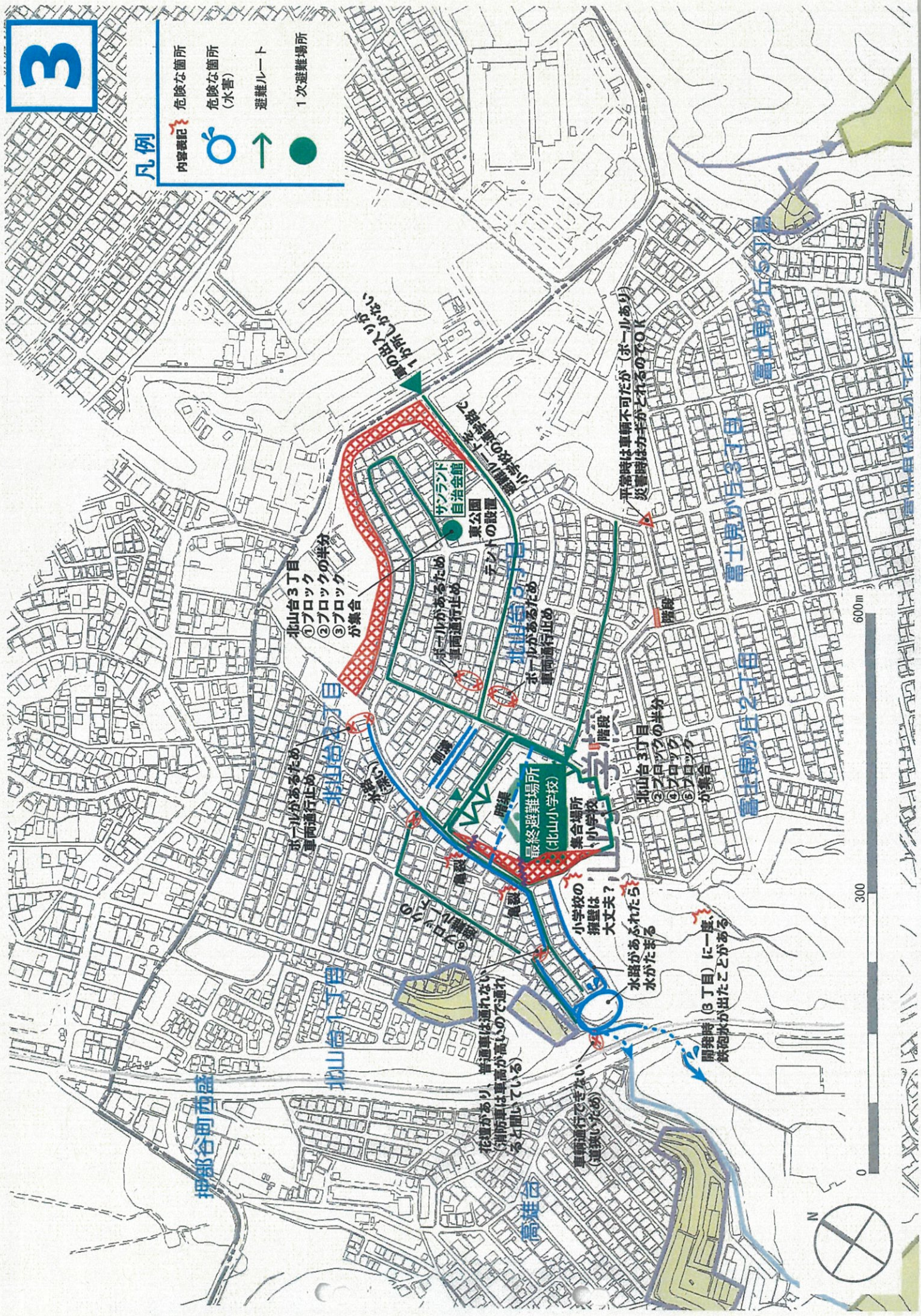
300





## 凡例

-  内容表記
-  危険な箇所
-  危険な箇所 (水害)
-  避難ルート
-  1次避難場所



平常時は車庫不可だが (ボールあり)  
災害時はカーキがとれるのでOK

北山台3丁目  
①ブロック  
②ブロックの半分  
③ブロック  
が集合

北山台2丁目  
ボールがあるため  
車両通行止め

北山台1丁目  
ボールがあるため  
車両通行止め

北山台3丁目  
①ブロックの半分  
②ブロック  
③ブロック  
が集合

小学校の  
隔壁は  
大丈夫?  
水路があるため  
水がたまる

開発時 (B丁目) に一度  
鉄砲水が出たことがある

花壇があり、普通車は通れない  
(消防車は車高が高いので通れ  
ると聞いている)

車両通行できない  
(道狭いため)



